

第5回 APEC 林業担当大臣会合議長声明（仮訳）

チェンマイ、タイ

1. アジア太平洋経済協力（APEC）林業担当大臣（MMRF）は、2022年8月23日から25日にかけて、タイ天然資源・環境大臣 H. E. Mr. Varawut Silpa-archa 議長の下、タイのチェンマイに集った。本議長声明は、会合の過程で表明された全 APEC 加盟エコノミーの一般的な見解に対する議長の評価を反映したものである。
2. 会合では、タイの主催年のテーマである「開かれ、繋がり、バランスの取れた (Open. Connect. Balance.)」を、技術やイノベーション活用して価値を創造し、廃棄物を削減し、持続可能なビジネスモデルを促進するという、3つの経済的アプローチを統合した生物循環グリーン (BCG) 経済モデルであると認識した。優先事項の「バランス」は、包括的で持続可能な成長を促進することに焦点を当てたすべての側面のバランスをとることを意味し、森林資源は主な重点分野の1つである。
3. 会合では、APEC プトラジャヤ・ビジョン 2040 を再度強調し、開かれた、ダイナミックで、強靱かつ平和なアジア太平洋共同体を実現し、気候変動、異常気象、自然災害を含むあらゆる環境問題に包括的に対処するための世界的な取組を支援する経済政策、協力、成長を促進し、自由で、開かれた、公正で、差別の無い、透明かつ予測可能な取引・投資環境を提供するとのコミットメントを確認した。
4. ビジョン達成に向けて個別及び共同の行動を定めた「アオテアロア行動計画」を歓迎し、環境的に持続可能で強靱な成長と森林資源の持続可能な管理を推進し、違法伐採や関連の取引への対策、優良事例を共有し、あらゆる環境問題に対処し持続可能な成長を支えるための経済政策や能力開発プログラムを推進する。
5. 会合では、2007年の気候変動、エネルギー安全保障及びクリーン開発に関するシドニー-APEC 首脳宣言で定められた、APEC2020 森林被覆目標の達成を称賛した。森林被覆が 2007年から2020年の間に2,790万ヘクタール増加し、2020年までに2,000万ヘクタール増加という当初の目標を超えたこと、また、持続可能な森林経営および森林回復のためのアジア太平洋ネットワーク (APFNet) や国連食糧農業機関 (FAO) 及びその他の森林に関連する機関の支援があったことを認識した。
6. 会合では、以下の重要な課題が取り上げられた。
 - a) 持続可能な森林経営、森林保全及び森林再生に関連する APEC の既存のコミットメントの実施を再確認する。
 - b) 森林被覆の維持、森林損失の抑止と好転、森林の回復と持続可能な管理・経営、都市部及び郊外の森林と緑地の増加、女性・若者・少女などの多様で脆弱なグル

ープへの関心の強化及び生活の向上のための我々の努力を強化する。

- c) 各エコノミーにおける効果的な政策の確立と実施、APEC エコノミー間での情報と優良事例の共有、合法的な木材の取引の促進により、違法伐採や関連の取引への対策のための協力関係を強化する。
- d) 違法伐採対策、EGILAT やその他のイニシアティブへの共同参加を通じて合法的な木材取引を促進し、持続可能な森林経営から生産された木材・木材製品の利用を促進するため、国際機関や民間セクターを含む関係者との協力を更に強化する。
- e) 既存の個別の努力とエコノミー間の協力を強化し、林産物の貿易において民間セクターと協力する。
- f) 持続可能な森林経営と合法的な木材の取引における科学と政策の接点を改善するため、技術開発、相互の合意による自発的な技術移転、能力開発など APEC エコノミー間の協力を通じて、科学的知識の交流を促進し強化する。
- g) 関連する場合には、気候及び開発政策を含む COVID-19 後の経済回復に、森林と持続可能な森林経営への配慮を統合する。
- h) 国際的な森林に関連する協定や宣言、関連する条約の下での作業に貢献する。
- i) 持続可能な森林経営、保全、再造林、植林、そして持続可能な木材利用を通じて、気候変動への効果的な対処に向けた努力とともに、気候変動の緩和、適応、回復を支援する。
- k) 生物循環グリーン（BCG）経済モデルなど、より全体的で相乗効果のあるアプローチを森林分野、特に持続可能な森林経営に適用し、各エコノミー内及びエコノミー全体の包括的な開発を促進するための既存の活動の推進を奨励する。